

2022

5

月号

2022年(令和4年)5月1日発行 No.404号
公益財団法人 川崎市産業振興財団
〒212-0013 川崎市幸区堀川町66-20
☎044-548-4114
FAX 044-548-4110



産業情報 かわさき

<https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/gyoumu/jyouhou/report.html>

「鉄+銅」の新合金、産業を変える可能性



ビジネス
エコー

Business Echo 16

MTA合金株式会社

鉄と銅一。性質が全く異なる二つの物質を融合させたハイブリッドな新合金「銅鉄合金」を普及させている企業があります。川崎区東田町にあるMTA合金は2016年7月、世界で初めて鉄と銅を融合した合金の開発に成功しました。人類が手にしてから長い歴史がある鉄と銅ですが、そもそも融点や分子構造が異なる

ため、合金化は不可能とされてきました。しかし、鉄に銅を配合する特殊な溶解方法を編み出したことで、新合金が生産できるようになり、常識を覆しました。鉄と銅の“いいとこ取り”を実現したこのハイブリッド合金に今、国内外の企業から熱い視線が注がれています。

■定説覆す製法

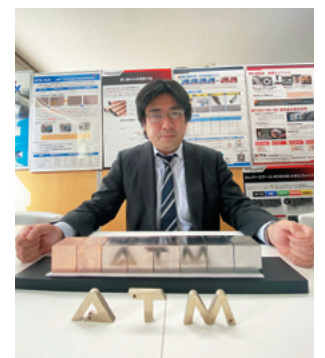
鉄には硬さや強度があり、銅には熱や電気をよく通す性質があります。同社によると、これらの特徴を持ち合わせた新合金をつくらうと、戦前から米国や欧州、日本で進められてきました。第2次世界大戦中はドイツと米国がその技術を競い合ったとされています。戦後は米オーリン社が銅に鉄を2.5%混ぜた「鉄入り銅=C1940」の量産化に成功。当時の産業界を大いに沸かせました。

しかし、それ以上混ぜることは不可能というのがこの時以来の「定説」でした。

同社の柴田徹郎社長は「そもそも(鉄と銅は)性質が

あまりにも違うため、融合させるには『野球ボールにバスケットボールを入れるほど難しい』と言われてきました」と語ります。

こうした中、同社は新しい溶解方法により、鉄と銅の合金化に成功。量産化にも対応する製法を生み出しました。2016年7月に世界で初めて、鉄90%に対し、銅を10%混



柴田 徹郎 社長

ねながら、新合金の実用化を進めてきました。そして19年5月にサンプル出荷を開始。20年8月には、韓国・槐山（グエサン）の製造工場も稼働させました。

このハイブリッド合金の製造技術のもう一つの大きな特徴としては、鉄と銅の配合比率を自由自在にブレ



精密部品も対応できる
金属3Dプリンター造形

ンドできることで、導電性や熱伝導性を上げたければ銅の配合を高め、より強度を出したければ鉄の配合を高めます。

つまり、用途に応じて、配合を変えながらオリジナル合金が製作できるのです。合金は粉末状でも供給可能なので、金属3Dプリンターの材料にも使えます。

■ベリリウム銅の代替に

今年3月に本格発売した主力製品「MTA-FeX」は、ベリリウム銅の代替材料になるのでは、と関係者からの注目を集めています。ベリリウム銅は、銅合金の中で最高の強度を持ちながら熱伝導が優れており、加工性もよいという三拍子そろった材料です。そのため、電極や金型、精密機械の部品やバネ、コネクタなど、あらゆる産業で使われています。ただ、毒性があることから、近年の欧州では環境規制の対象物質として検討されています。加えて、最近では入手困難になりつつあり、価格が高騰しています。

同社の「MTA-FeX」は、ベリリウム銅と比べ、2割程度安価ながらも、同等の性能があるとされています。「機能的に遜色がありません」と柴田社長は太鼓判を押します。その証拠として、硬度を示すHRC（ロックウェル硬さ）は30以上、熱伝導率は同程度の1メートルケルビン当たり約90ワット。熱処理後もほぼ変わらない熱伝導率を持っています。

「硬くて熱伝導にも優れている」という特徴から、プラスチック成形の金型の材料や電極、熱交換器などへの活用が期待されています。また、電磁波シールド特性もあるため、ノイズ対策にも有効としており、5G通信や電気自動車（EV）関連素材の用途も見込んでいます。

■金属3Dプリンター造形も

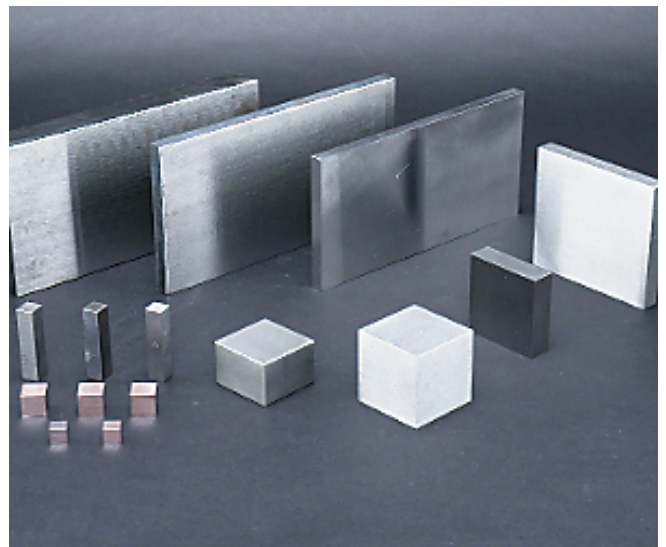
同社の事業範囲は新合金の開発にとどまりません。金属3Dプリンターを活用した試作品造形サービスも始めています。現在、コネクタなどの電子部品や電装品メーカーなどに提案。図面データから直接ものづくりに着手できる金属3Dプリンターの活用により、試作品の開発スピードが飛躍的に高まるとしています。

一般的な試作品製作の流れは、まず図面データをもらい、そこから試作品に対応する金型を設計、製作していきます。完成後のトライ成形を経て、ようやく試作品作りに入ります。

それに対し、金属3Dプリンターを使えば、図面データから直接製作できるため、金型は不要となります。柴田社長によると、金型を使う場合と比べ、3分の1の短期間で製作できるそうです。しかも金型の製作費用がかからないため、試作品にかかるトータルコストは10分の1程度で済むとしています。

現在、海外の協力工場に専用の金属3Dプリンターを設置し、「MTA9100」のほか、ステンレス（SUS）やチタンなどの材料にも対応しています。最小0.1ミリの極薄・極細の造形もできるため、精密部品の試作にも向いています。

新合金に始まり、金属3Dプリンター造形サービスまでと、産業や生活になくてはならない金属・合金の分野で、同社は挑戦を続けています。川崎発の新合金が、これからの産業に新たな革命を起こす可能性は十分にありそうです。



発売したMTA-FeX

企業データ

MTA合金株式会社

【住所】 〒210-0005

神奈川県川崎市川崎区東田町8

パレールレッド館401-B

【URL】 <https://mta-tokyo.jp/>

第3回 iCONM 市民公開講座「認知症ケアと看民工連携への期待」を開催しました！

2022年3月6日（日）ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）は、第3回市民公開講座を開催しました。今回は、認知症をテーマに医療とケアの現状を視聴者の皆さまにお伝えしました。

認知症は現在の医療で治すことの難しい疾患です*。2025年には、65歳以上の2割が認知症を罹患するとされ（内閣府・平成28年版高齢社会白書）、また、現状のままであれば、高齢化率の更なる増大に伴い、今後、罹患者数が増加の一途を辿ることが予想されます。進行は抑えられても、有効な治療法が無い現在において、認知症になっても暮らしやすい社会の構築は、人々の健康ライフを考えると大変重要であり、厚生労働省も「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる〈共生〉を目指す」と「認知症施策推進大綱（令和元年6月）」で謳っています。

*タイプによっては治るものもあります。



パネルディスカッション
～認知症に優しい社会と看民工連携への期待～の様子

「病気になるしない」でなく「病が気にならない」社会を目指そうという片岡一則 iCONMセンター長の挨拶に続き、戸須真理子氏（プレイズン・セラピューティクス取締役会長）からは、脳内に選択的に薬剤を届けるための意義と、それを可能とするナノマシンによる先端技術が紹介されました。続いて登壇した山川みやえ先生（大阪大学大学院医学研究科老年看護学・准教授）は、認知症になっても暮らしやすい社会を構築するには、周囲の人たちがもっと認知症について知り、困っている人を見かけたら助けがあげられるカルチャーが必要だと述べ、そのためのコミュニケーションアプリなど科学技術の介入が不可欠であることを示唆しました。

パネルディスカッションでは、まず、北園久雄先生（川崎市立川崎病院・認知症疾患医療センター長）から昨年8月に開設された認知症疾患医療センターのご紹介と医学的立場で認知症とは何かについてご説明頂きました。認知症の中には治せるタイプのものであるので、それを見逃さないことに気を付け、それ以外のタ

イプの場合でも診断後のケアはしっかりと行う方針とのお話がありました。次に、荒木田美香子先生（川崎市立看護大学・副学長予定者）から地域包括ケアにおける大きな課題である認知症にしっかりと向き合える看護師の育成を目指したカリキュラムについて、看護業務への科学技術の必要性についてお話がありました。そして、舟田 彰氏（川崎市立宮前図書館・課長補佐）からは、認知症の方々に気軽に図書館を利用してもらい読書を楽しんで頂くための施策について、実例を踏まえながらご紹介頂きました。

最後に、一木隆範先生（iCONM主幹研究員・東京大学大学院工学系研究科教授）から、ケアの領域における更なるニーズを探り、それに応えられる科学技術の創出が今求められているという現実に直面し、今後、看民工連携を促進するとの言葉で会を閉めました。



ご参加いただいた皆様
ありがとうございました！

【この記事に関する問い合わせ】

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）市民公開講座担当 ☎044-589-5700

iCONM

検索

看民工 看民工学コラム① 看護職の働き方改革を科学の力で

「看民工学*」という言葉をご存知ですか？「すべての人々（民）をケアする（看）ための工学」と定義します。「看病」は病人をケアすること。しかし、病気になった時だけでなく、病前病後、更には健康人の時から病気に備える意識と知識を高めることが健康寿命を延ばすために大事だということ、新型コロナウイルス感染症の教訓から学んだ方も少なくないでしょう。それ故の「看民」であり、そのための科学技術が「看民工学」です。

令和3年版高齢社会白書（内閣府）によれば、65歳以上の高齢者の増加と15歳未満の子ども達の減少は更に進み**、高齢化率（総人口に対する65歳以上の人口が占める割合）は、2065年に38.8%に達する見込みです。そして、高齢者が増えれば医療リソース（例えば、人材、費用、病床数など）への負荷も増えるため、医療自体をさらにゆとりあるものにする必要があります。例えば、医療従事者の中でも、最も患者さんに近い存在である看護師という職業。最近では、病院やクリニックだけでなく在宅医療に関わる訪問看護師という職もあります。しかし、命と向き合うが故に責任が重く、決して楽な仕事ではないことは容易に想像がつかます。川崎市看護協会の堀田彰恵会長に看護師という職業について伺いました。

『看護職は患者さんと家族のためにいつも一生懸命です。困難なことも当たり前のこととしてやってしまうので改善の可能性に気づけない面があるかもしれません。異分野の皆さんとの会話を通して、<それって科学技術で何とかできるんだ！>というポイントに初めて気づくことができるのかと思います。まずは、気軽に会話ができる関係性や環境の構築が必要ですね。』

看護師さん達にもっと快適な職場環境を提供するために、まずは現状を知り、声に耳を傾け、そして何が出来るか？私たち川崎市産業振興財団は看護協会と共に、今、その答えを探す旅に出発したところです。旅のお供をしてくださる企業がありましたら是非一緒下さい。



川崎市看護協会にて（左から）

八木美智子 川崎市看護協会副会長
千島美奈子 川崎市看護協会理事
フロレンス ナイチンゲール像***
荻原 圭一 川崎市産業振興財団事務局長
三浦 淳 川崎市産業振興財団理事長
堀田 彰恵 川崎市看護協会会長
鈴木 毅 川崎市産業振興財団専務理事

* iCONMIにより商標登録出願中。
** 高齢者の増加は、2042年以降、減少に転じるものの、少子化は更に進むと推定されている。
*** ナイチンゲールは、看護手法に統計学を持ち込み、看護学の基礎を築いた。

<お問合せ先>

iCONM 公益財団法人 川崎市産業振興財団
ナノ医療イノベーションセンター
看民工学事務局 E-mail iconm-kmkproject@kawasaki-net.ne.jp
TEL : 044-589-5700

iCONM

検索

募集
開始

低CO₂川崎ブランド・川崎メカニズム認証制度 対象製品等を募集します

市内の優れた環境技術により、CO₂削減に貢献する製品・技術、サービスを認定する「低CO₂川崎ブランド」と製品等のライフサイクル全体*を通じてCO₂削減量を認証する「川崎メカニズム認証制度」の募集を開始します。カーボンニュートラルの実現に向けて、製品・技術、サービスにおいてもCO₂排出量が着目されています。これを機に自社製品等のCO₂排出量について計算してみたいはかがありませんか？

専門家による申請書作成の無料支援も御用意しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

■低CO₂川崎ブランド・川崎メカニズム認証制度の募集

LOW CARBON



低CO₂川崎ブランド

ライフサイクル全体を通じて、従来製品等と比較し温室効果ガスの排出量が削減された製品・技術、サービスを認定します。



市内企業の環境技術が製品等のライフサイクル全体を通じて、市域外で温室効果ガスの削減に貢献している量（域外貢献量）を認証します。

*ライフサイクル全体…製品等の原材料調達から生産、流通・販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクルまで

■募集の概要

●**募集対象**／川崎市内で研究開発（企画）又は製造（提供）された製品・技術、サービス

●**募集期間**／2022年5月2日（月）から7月8日（金）まで

●**応募方法**／低CO₂川崎ブランド等推進協議会ホームページ（<http://www.k-co2brand.com>）から申請書をダウンロードし、必要事項を記載して、電子メール（30jigy@city.kawasaki.jp）にて御応募ください

※応募にあたり、事前相談から申請まで専門家による無料支援が受けられますので、専門知識は一切不要です。まずはお気軽に御相談ください。

●**個別相談会**／2022年6月1日（水）10:00開催（事前登録制）
温室効果ガスの排出量の計算方法や申請書の書き方などについて、専門家が相談にのります。

御希望の方は5月26日（木）までに下記電話番号またはメールアドレス宛てにご連絡ください。

※新型コロナウイルスの影響等により、開催方法を変更する場合があります。

【問い合わせ先】

低CO₂川崎ブランド等推進協議会事務局（川崎市環境局 脱炭素戦略推進室）

☎044-200-3872 FAX044-200-3921

E-mail 30jigy@city.kawasaki.jp <http://www.k-co2brand.com>

低CO₂川崎ブランド

検索



認定・認証後のPR活動

認定・認証した製品等は普及促進に向け、ホームページやパンフレット、展示会等を通じて広くPRします。

【PR実績】

- ・製品PRポスター作製、市内主要駅での掲出
- ・南武線トレインチャンネルでのオリジナル動画の放映
- ・川崎国際環境技術展、エコプロなどへの出展
- ・「産業情報かわさき」など各種広報誌への掲載 など



エコプロ2021への出展

市内事業者エコ化支援補助金

市内中小企業者の太陽光発電設備、太陽熱利用設備等の再生可能エネルギー源利用設備の導入や、空調、燃焼設備、業務用燃料電池の省エネルギー型設備の導入等、エコ化の取組に対して補助金を交付します。

対象者	市内に事業所を有する ①中小企業者 ②学校法人 ③医療法人 ④社会福祉法人 ※川崎市地球温暖化対策推進条例に定める中小規模事業者が対象
対象事業	(1) 再生可能エネルギー設備導入（上記①～④）(2) 省エネルギー型設備更新（上記①）
補助額	補助対象経費の、(1) 1/4以内（上限200万円）(2) 1/5以内（上限150万円） ※「低CO ₂ 川崎ブランド」の認定から3年度以内の製品導入の場合1/4以内（上限200万円）
公募要件	詳細については、下記ホームページを参照ください。 https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000116071.html

川崎市環境局 脱炭素戦略推進室 ☎044-200-3873 FAX044-200-3921

川崎 エコ化支援

検索



▲太陽光発電設備



▲空調設備

スマートライフスタイル大賞の募集を開始します



川崎市とCC川崎エコ会議では、多様な主体の協働によるCO₂削減の取組として、市民や事業者等のCO₂削減に貢献する優れた取組を表彰する「スマートライフスタイル大賞」を実施しますので、次のとおり皆さまのご応募をお待ちしています。

- **募集期間** 5月2日(月)から8月1日(月)まで
- **募集内容** 家庭、学校、店舗、事業所及び団体等における省エネ・節電等のCO₂削減、地球温暖化対策につながる生活や事業活動の実践、教育資料の開発、情報の提供、学校・企業内における教育活動等の普及啓発に関する取組。
- **表彰** 「最優秀賞」及び「優秀賞」等を選定し、10月のCC川崎エコ会議シンポジウムにて表彰式を行います。
- **応募方法** 所定の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、環境局脱炭素戦略推進室<30dtanso@city.kawasaki.jp>まで電子メールで御応募ください。なお、応募用紙は川崎市ホームページからダウンロードできます。

【問い合わせ先】

川崎市環境局 脱炭素戦略推進室
☎044-200-3871 ☎044-200-3921
E-mail 30dtanso@city.kawasaki.jp



川崎市ホームページ

《令和3年度の主な受賞者》

- **最優秀賞**
 - ・川崎信用金庫
「環境に配慮した店舗」
 - ・前田道路株式会社
「まえだTEQ、まえだパークによるグリーンインフラの整備」
- **優秀賞**
 - ・トカイナカヴィレッジ松本傳左衛門農園
 - ・マルイファミリー溝口・ノクティプラザ
 - ・株式会社 内藤アカデミー
 - ・川崎市立南野川小学校
 - ・早野聖地公園 里山ボランティア



参加費無料

いちばん優しい事業承継セミナーのお知らせ

中小企業経営者の高齢化が進む中、後継者の確保や廃業の検討等、会社の引継ぎに関する問題が増加しています。「経営者と後継者の間に横たわるコミュニケーションギャップをどう克服するか」など、後継者問題を解決して事業承継を進めるヒントについて、多くの企業の事業承継支援を行ってきた講師が、成功事例と失敗事例を織り交ぜながら、優しく伝えます。終了後に個別相談（要予約）も実施します。

- 日時** 令和4年6月15日(水) 14:00~15:30
場所 KCCIホール 会議室3 (川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル2階)
対象 事業承継を具体的に検討されている経営者・後継者およびその候補
定員 30名(先着順)
講師 事業承継センター株式会社 会長 内藤 博
申込方法 電話もしくはチラシ裏面の申込書に必要事項を記載し、FAXでお申込み
申込先 事業承継センター株式会社
☎03-6689-2907 ☎03-5408-5507
チラシ・申込書については、市ホームページをご覧ください。
(右のQRコードからアクセスできます)



内藤 博氏

【問い合わせ先】

川崎市経済労働局
経営支援課 事業承継担当
☎044-200-3896
☎044-200-3920



KISTEC研修講座「基礎理論、実践技術から品質管理まで」

多彩なテーマでものづくりに携わる方々の育成をしっかりとサポートいたします。

令和4年度ものづくりセミナー開催予定一覧 オンライン開催(ZOOM)

企業の技術者の技術力向上を目的としたセミナーを開催いたします(実施分含む)。

- 4月 EMC入門セミナー (2日間)
- 5月 金属組織観察実習 (2日間)、EMC「電波吸収体・シールド技術」セミナー (4日間)
- 6月 機器分析入門セミナー (3日間)、ナノファブスクエア実習
- 7月 機械材料基礎セミナー (16日間)
- 8月 抗菌・抗ウイルス材料の開発から製品化セミナー (3日間)
- 9月 半導体入門セミナー (4日間)
- 10月 金属組織観察実習 (2日間)
- 11月 プラスチック射出成形セミナー (5日間)
- 12月 IoT技術とシーケンス制御セミナー (6日間)
- 1月 情報通信セミナー (5日間)

※実施内容や日程の変更、または中止となる場合があります。

<メルマガ登録>セミナーの案内をご希望の方は sm_sangyoujinzai@kistec.jp までご連絡ください。

地方独立行政法人
神奈川県立産業技術
総合研究所からの
お知らせ



詳しくは、KISTECホームページをご覧ください。
<https://www.kistec.jp/> 「学びたい」で検索!



川崎市コンテンツグローバル化促進事業 補助金の公募についてのご案内

川崎市内の中小事業者等が海外展開に向けて行う自社コンテンツのグローバル化（HPの多言語化、デジタルコンテンツの作成等）に要する経費の一部を補助します。

対象事業	①外国語の資料・ホームページ等作成 ②PR動画等作成 ③契約資料等の作成・翻訳	補助率	補助対象経費の3分の2以内
対象者	市内に事業所を有して1年以上事業を営む 中小事業者等	限度額	20万円
対象期間	交付決定日から令和5年3月15日(水)	受付期間	令和4年5月16日(月)から5月30日(月)まで ※書類を受理した順に審査を行い、予算額に達した時点で受付を終了します。
対象経費	作成費用	申請手続	郵送等（川崎市ホームページをご覧ください。） 申請書類は、川崎市ホームページからダウンロードしてください。

【申請書類提出先・問い合わせ先】

川崎市経済労働局 経営支援部 経営支援課 国際経済担当
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階
☎044-200-2336 E-mail 28keiei@city.kawasaki.jp



川崎市グローバル展開支援事業補助金の公募について

新型コロナウイルス感染症の影響による販路開拓の機会損失や蒸発した需要の回復を図るため、国際的な電子商取引（越境EC）やオンライン商談等の取組に対して経費の一部を補助します。また、現地の状況把握や信頼関係の構築のためには、対面による取組も引き続き重要であることから、渡航調査や海外の展示会出展及び国際認証等の取得にかかる経費の一部を補助し、オンラインと対面での双方の形態により、新常态下での市内産業のグローバルな発展を後押しします。

	対象者	補助対象事業	補助対象経費	補助率	限度額
1	市内に事業所を有して 1年以上事業を営む 中小事業者等	国際的な電子商取引 (越境EC) の取組	出店費用 サイト構築費 コンテンツ制作費 マーケティング・広報費用 運搬費 通訳翻訳費	3分の2以内	40万円 ※重点事業に該当する 場合は50万円
2		海外事業者との オンライン商談等の取組	参加費用 コンテンツ制作費 マーケティング・広報費用 運搬費 通訳翻訳費		20万円 ※重点事業に該当する 場合は30万円
3		海外への販路開拓や 拠点設立に向けた渡航調査	調査委託費 通訳翻訳費 航空費 外国語印刷物等の制作費		10万円
4		海外で開催される 展示会等への出展	出展費用 通訳翻訳費 運搬費 外国語印刷物等の制作費		20万円 ※重点事業に該当する 場合は30万円
5		海外展開に必要な 国際認証等の取得	審査費用 認証・登録費用		40万円

※重点事業は、「川崎ものづくりブランド」、「低CO₂川崎ブランド」、「かわさき基準（KIS）」、「かわさき名産品」のいずれかの認定・認証製品を有する企業の取組を指します。

◆**公募期間**／令和4年5月10日(火)から令和5年1月31日(火)まで
※締切は毎月末とし、予算額に達した月に募集を終了します。

◆**補助対象期間**／交付決定日から令和5年3月15日(水)まで
※交付決定日は申請月の翌月中旬頃となる予定です。

◆**申請方法**／郵送等（川崎市ホームページをご覧ください。）

※本補助金は、事業計画書の事前確認が必要です。


※申請書類は、川崎市ホームページからダウンロードしてください。

【申請書類提出先・問い合わせ先】

川崎市経済労働局 経営支援部 経営支援課 国際経済担当
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階
☎044-200-2363 E-mail 28keiei@city.kawasaki.jp



かわしん 出張キャラバン探訪 Vol.82

※川崎市では、 川崎信用金庫との包括連携協定のもと、魅力ある中小企業を発掘し、発信していきます。

株式会社 アンテック

資 格 者 集 団

今回ご紹介するのは、多摩区にある株式会社アンテック。主業は電気工事業、鉄道の転落防止のホームドアや監視カメラ等の設置、商業施設やホテルなどのセキュリティキーボックスの設置、Wi-Fiのアクセスポイントの設置工事などを行っています。元々は電鉄関係の業務がほとんどであったが、現在の森川氏が代表者になってからは異業種交流会などに積極的に参加、業務の幅を広げています。この業務幅の拡大に対応すべく当社では資格の取得を特に推奨しており、従業員のほとんどが複数の資格を保有する真のプロフェッショナルであり、外部への勉強会にも積極的に参加させ、常に知識をアップデートさせ工事に臨んでいます。



女性も活躍中



「かわさき えるぼし」認定式

また、「かわさき えるぼし」認定企業でもあり、総務部門の女性に技術者としての資格取得を支援するなど職域拡大を進めており、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定、仕事と家庭、子育ての両立が可能な勤務体制の充実を目指しています。

手に職をつけ、プロフェッショナルになりたいという方、初心者から育てます。是非ご連絡を。

- 所在地 川崎市多摩区宿河原2-32-1 1F
- 事業内容 一般電気工事・公共施設・設備関係保守メンテナンス・光通信/ネットワーク設備構築・一般労働者派遣事業(エンジニア派遣)

- ☎044-931-6505 ☎044-932-6090
- HP <https://www.antec-jp.com/index.html>

<情報提供：川崎信用金庫 登戸支店>

【問い合わせ先】

川崎市経済労働局 経営支援課 ☎044-200-3896



本社前で

川崎市 魅力あふれる個店創出事業の公募について



川崎市では、新たな連携・協働や先進的かつ意欲的な事業を創出し、市内商業の活性化を図ることを目的として、やる気ある市内の事業者が実施する事業を支援します。

- ◆対象者 事業者、または事業者グループ（市内の中小企業事業者等）
- ◆対象事業 ①新商品、共同ブランド等の開発
②新事業展開・業態転換
③デジタル化推進
- ◆補助率 補助対象経費の2分の1以内
- ◆補助限度額 30万円（商店街加盟店の場合は、50万円）
- ◆URL <https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000018526.html>
- ◆審査方法 申請書提出後、審査会にてプレゼンテーション
- ◆募集期間 4月18日(月)から6月24日(金)まで

※令和5年3月31日(金)までに終了する事業が対象です。
詳細は川崎市ウェブサイトをご確認ください。

【問い合わせ先】

経済労働局 観光・地域活力推進部 商業・サービス振興担当（事業者支援）
☎044-200-2330 ☎044-200-3920 E-mail 28syogyo@city.kawasaki.jp

①新商品、共同ブランド等の開発事例

ワインの搾りかすを活用した環境配慮型の化粧品開発プロジェクト（株式会社CarnaEst / R3年度）



地域の大学・市内企業と連携して商品開発したバスソルト

川崎商工会議所主催

人事・労務担当者必見！

令和4年度の労務管理のポイント ハイブリッドセミナー

2022年の労務関連法改正を まとめて解説！

今回のセミナーでは、「パワハラ防止法」や「育児・介護休業法」、「短時間労働者の社会保険適用」など知っておくべき労働社会保険法の改正をピックアップし、改正内容と対応策について、説明いたします。

代表者・人事労務担当者に今すぐ役立つ情報と今後のために知っておきたい情報を提供します。

【問い合わせ先】

川崎商工会議所 中小企業振興部 ☎044-211-4114 ☎044-211-4118

- 講師 佐川社会保険労務士事務所 所長 佐川 陽子 氏
- 日 時 / 令和4年5月18日(水) 15:00~16:30
- 場 所 / ①会場参加：川崎商工会議所KCCIホール
(川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル3F)
②WEB参加：ZOOM配信
- 定 員 / ①会場参加：40名 ②WEB参加：100名
- 参加費 / 川崎商工会議所会員：無料（非会員：3,000円）
- 申込方法 / 川崎商工会議所HPにあるチラシもしくはセミナーページよりお申込みください。
- URL <https://kcci-event-entry.biz/kcci/>



紹介
したい!

地元川崎で がんばるお店

Vol.
14

武蔵小杉の人気パンケーキ屋さんが
バウムクーヘン専門店をオープン!

MYSTAR BASE ~ Baum&Coffee ~

今回紹介するのは、「MYSTAR BASE ~Baum&Coffee~」メディアに多数取り上げられ、連日行列のできる武蔵小杉の人気パンケーキ店「3STARS PAN CAKE」が新たに手掛けるバウムクーヘン専門店です。

代表の高梨さんは、「川崎を代表するギフトスイーツを作りたい!」との思いのもと、パンケーキ職人として磨いた技術を凝縮し、これまでバウムクーヘンに不向きとされてきたチーズを使用したバウムクーヘン生地の開発に成功。バウムクーヘンは2種類。厳選素材を高温短時間で丁寧に焼き上げ、ふ

わふわ食感が楽しめる「スフレスタンダード」と、発酵バターとチーズを低温でじっくり焼き、やみつきになる旨み特徴の「バイクドカマンベール&チェダー」。また、ふわふわ食感のバウムクーヘン生地に季節のフルーツをふんだんに使ったオリジナルケーキ「BAUM CAKE」も人気メニューです。ラインナップは今後も拡充予定!

お洒落なカフェやダイニングが立ち並び、「ウラ小杉」として注目されている武蔵小杉・新丸子周辺の盛り上げ役「MYSTAR(私の星、お気に入りの) BASE(お店)」として長く地元で愛される店



を目指しています。パンケーキ職人がこだわりを持って作ったバウムクーヘンを、ぜひ一度ご賞味ください!



- ◆MYSTAR BASE (マイスターベース)
- ◆運営会社：株式会社3STARS
- ◆川崎市中原区小杉町1丁目543-3 (武蔵杉駅より徒歩5分)
- ◆☎044-712-7273
- ◆営業時間：11:00~19:00 (商品がなくなり次第販売終了・月曜定休)
- ◆カフェは予約制



川崎じもと応援券(第3弾)を「電子商品券」により発行します!

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている中小企業等への支援として、プレミアム付き商品券を電子商品券により40万セット発行します。1セット10,000円で12,000円分が使えます(プレミアム率20%)。利用期間は令和4年7月4日(月)~12月31日(土)です。市内の中小企業が営む飲食店、小売店のほか、さまざまなサービスで利用できます。



●**申込方法** 令和4年4月28日(木)~5月31日(火)に川崎じもと応援券ホームページから

●申し込みから購入の流れ

ステップ1 申込 ホームページから 申込	ステップ2 当選通知 メールで当選通知が 届きます	ステップ3 購入 応援券代金の支払い・ チャージ(クレジットカードや コンビニ払い等・手数料不要)	ステップ4 利用開始 応援券(電子商品券) 利用開始
4/28(木)~5/31(火)	6/8(水)~6/9(木)	6/13(月)~6/24(金)	7/4(月) 10:00から

- 市内在住・在勤・在学者が対象です。
- 当選者1人に付き5セットまで購入可能です。
- 応募者多数の場合は市内在住を優先して抽選を行います。
- 1台のスマートフォンで御家族分の購入申込をする場合には、最大3名御応募いただくことができます。

詳細は問い合わせるかホームページで

川崎じもと応援券(第3弾)ホームページ

じもと応援券 第3弾

川崎じもと応援券(第3弾)コールセンター

☎0120-502-915

平日9:00~18:00

※4/18(月)~8/31(水)は

土日祝日も開設いたします。



川崎じもと応援券(第3弾) 利用店舗の募集

川崎じもと応援券(第3弾)を利用できる店舗を募集しています。QRコードを置くだけで簡単に始められます。ご応募をお待ちしております。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

■**申込期限** 令和4年4月18日(月)~11月30日(木)

利用店舗の参加条件

市内で営業する小売業、宿泊・飲食業、建設業、生活関連サービス・娯楽業などの店舗で、以下の基準を満たすもの

1. 届出住所が川崎市内であり、かつ市内に事業所・店舗等を有する者
2. 1のうち、事業所・店舗等を運営する事業者の常時使用する従業員の数が、中小企業基本法第2条第1項各号に規定する会社及び個人または同条第5項に規定する事業者該当するもの(下表、別表)(別表)

製造業その他	従業員300人以下の会社及び個人
卸売業	従業員100人以下の会社及び個人
小売業・飲食業	従業員 50人以下の会社及び個人
サービス業	従業員100人以下の会社及び個人

3. 1及び2に該当し、川崎市内の店舗等のみにおいて応援券の使用を制限出来る者。
4. 届出住所又は活動の拠点が市内であり、本市の「活力と魅力あふれる力強い都市づくり」などの施策と密接な連携を図っている事業者等については、具体的な関連性を判断した上で、1~3によらず対象とする。

■川崎じもと応援券(第3弾)の概要

- 発行総額** 48億円(40万セット)
- 構成** 1セット12,000円分の応援券を10,000円で販売(プレミアム率20%)
- 利用期間** 令和4年7月4日(月)~12月31日(土)
- 利用対象者** 市内在住、在勤及び在学の方

■申し込み・問い合わせ先

川崎じもと応援券(第3弾)ホームページ(右QRコード)もしくはコールセンター(☎0120-502-915)

